

IoTを活用した

認知症高齢者などの見守り

問い合わせ 介護長寿課 ☎227-6067

費用

- ・通信タグ1個 月額300円
2420円
- ・システム利用料の一部

対象

認知症高齢者などの見守りのため、通信タグや感知器などからなるシステムを導入しています。システムを利用する家族は、外出通知の受信や位置情報の把握ができます。

在宅の人で、行方不明になる恐れのある次の人

- ① 65歳以上
- ② 40～64歳で認知症と診断されている

見守りシステムイメージ

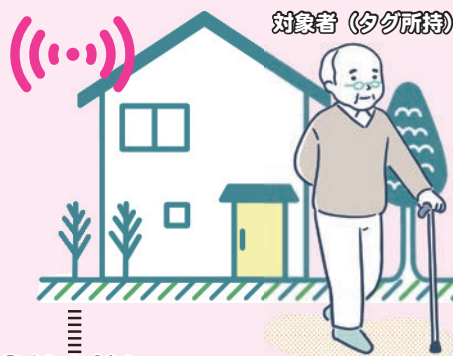


感知器



タグ

・自宅の感知器



・見守りボランティア ・市内の感知器



①外出検知

③見守りボランティアと対象者がすれ違うと位置情報を送信



サーバー

②外出通知



④位置検索



家族

どこにいるか
見てみよう

- ・自宅に設置した感知器と対象者のタグが離れると、家族のスマートフォンなどに外出通知
- ・市内に設置されている感知器や見守りボランティアのスマートフォンなどと対象者が接近すると、位置情報をキャッチ

アプリの
インストール
はこちら



↑ iPhone
(iOS)



↑ Android

※位置情報は匿名で送信されるため、ボランティア登録をした人の個人情報を知られることはありません

※積極的に検索を依頼するものではありません

行方不明者が発生した際、ボランティア登録をした人へ協力依頼メールが届きます。専用アプリをインストールしたスマホのGPS機能(位置情報)とBluetooth機能をONにすると、スマホが行方不明者の持つタグを感知する感知器の役割を果たし、早期発見の手がかりとなります。

協力内容

登録
スマホに専用アプリをインストールし、アプリのメッセージに従い

登録方法

認知症の人が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域ぐるみで見守るネットワークづくりを進めています。野々市市内に在住・在勤・在学でスマートフォンやタブレット(以下スマホ)を持っていれば誰でもボランティアになります。ぜひ協力してください。

スマホにアプリをインストール
あなたも認知症の予防に協力しよう！